

EEMシリーズ 施工手順書


◆安全に関する重要な内容です。

施工のまえに本施工手順書を必ずお読みください。
 施工後は本施工手順書を必ず使用者が保管してください。
 ※警告：取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う恐れがある。
 注意：取扱いを誤った場合、使用者が軽傷または物的損害を負う恐れがある。









警告

 禁止	◆製品の分解・改造はしないでください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 禁止	◆重いものを落としたり、ぶつけたり等強い衝撃を与えないでください。 ⇒製品が破損し、地絡・感電の原因となります。
 必ず守る	◆結線は所定の方法で、確実にこなしてください。 ⇒焼損・火災・機能不備の原因となります。
 必ず守る	◆電気工事は「電気設備技術基準」、「内線規程」に従い電気工事士資格者が行なってください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆必要に応じ「電気設備技術基準」の接地工事を実施してください。

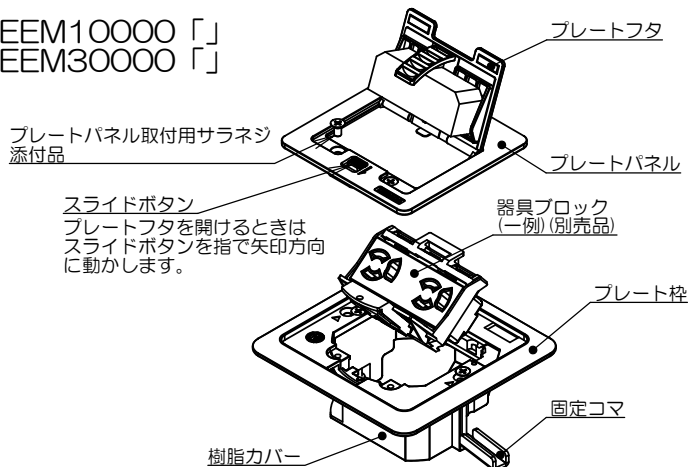


注意

 禁止	◆水や洗剤・ワックス等を使用しないでください。 ⇒火災・感電及び表面の変色の原因となります。
 禁止	◆養生テープ等のテープ類を長時間貼り付けたままにしないでください。 ⇒メッキや塗装が剥がれる原因となります。
 禁止	◆通行の障害となる様な場所や机の下等、製品が蹴られる様な場所に施工しないでください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。
 禁止	◆床暖房が施されている床に施工しないでください。 ⇒結露し漏電・感電の原因となります。
 必ず守る	◆容易に点検できる乾燥した場所に施工してください。 ⇒火災・感電・故障の原因となります。
 必ず守る	◆各取付ネジは確実に固定してください。 ⇒製品の破損・故障の原因となります。 (インパクトドライバーの使用不可)

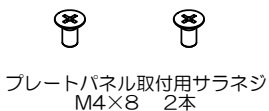
◆部品構成と名称

EEM10000「」
EEM30000「」

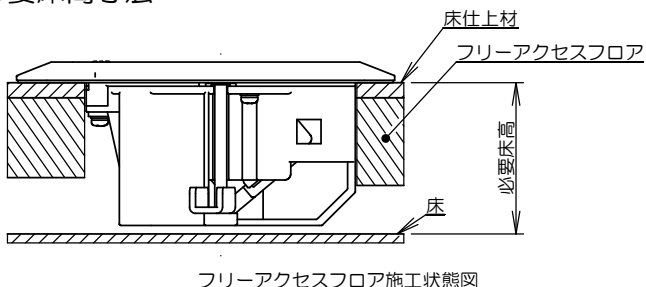


- ◆注意◆
- ・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。破損・機能不良の原因となります。
 - ・本図はEEM10000「」です。
 - ・取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

添付品

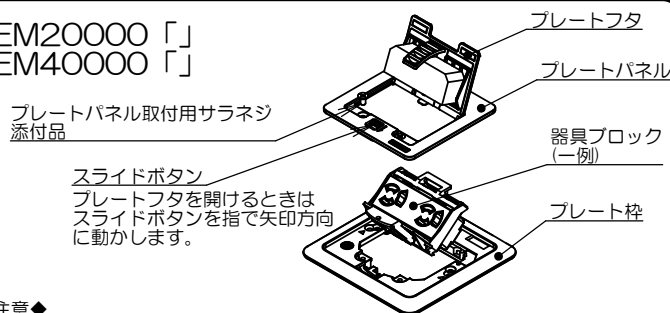


必要床高寸法



本製品の必要床高寸法は50mm以上となります。
 ※CAT6モジュラジャック、CAT6Aモジュラジャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高70mm以上となります。

EEM20000「」
EEM40000「」



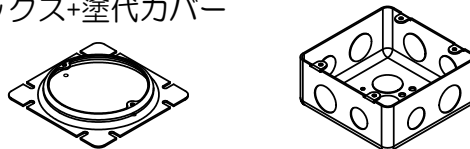
スライドボタン
プレートフタを開けるときはスライドボタンを指で矢印方向に動かします。

- ◆注意◆
- ・スライドボタンは、ドライバー等で強く押さないでください。破損・機能不良の原因となります。
 - ・本図はEEM20000「」です。
 - ・取付用ネジは、定期的に増し締めを行ってください。

添付品



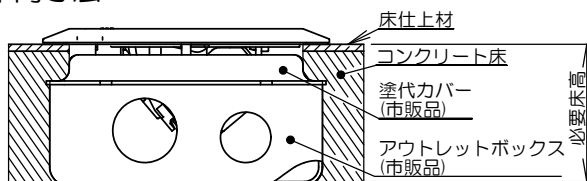
対応ボックス+塗代カバー



組合せ	必要床高
鉄製大四角深型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴塗代カバー (P=89mm)	68mm 以上
鉄製大四角浅型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴塗代カバー (P=89mm)	60mm 以上
鉄製大四角深型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴平塗代カバー (P=89mm)	60mm 以上
鉄製大四角浅型アウトレットボックス + 鉄製大四角大丸穴平塗代カバー (P=89mm)	60mm 以上

※CAT6モジュラジャック、CAT6Aモジュラジャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高75mm以上となります。

必要床高寸法



電線管床工事施工状態図

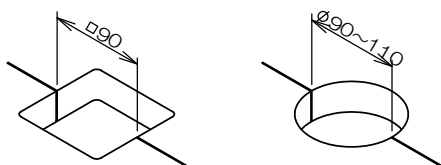
施工方法

フロアパネル

電線管工事

1 開口寸法確認

フロアパネルの開口を確認してください。
フローリング床・木床を開口する場合は下記寸法で開口してください。
その後、仕上げ材を敷き、開口に合わせてカットしてください。

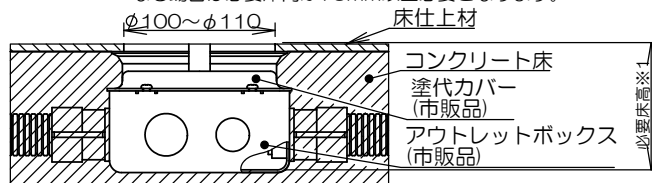


※フロアパネルへの新規開口は推奨しません。

1 ハツリ作業

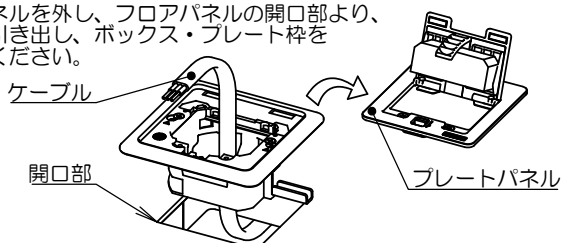
コンクリートをハツリ、床仕上げ材も開口してください。
また、塗代カバーは市販の鉄製大四角大丸穴塗代カバー(P=89mm)をご使用ください。

※注1. ご使用になるアウトレットボックス・塗代カバーの種類により必要床高寸法が変動します。(対応ボックス+塗代カバー参照)
またCAT6、CAT6Aモジュラージャック、TVユニットをご使用になる場合は必要床高が75mm以上必要となります。



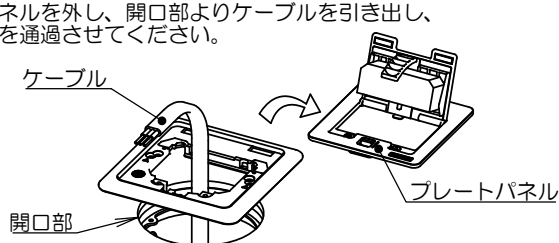
2 ケーブルの引き出し

プレートパネルを外し、フロアパネルの開口部より、ケーブルを引き出し、ボックス・プレート枠を通過させてください。



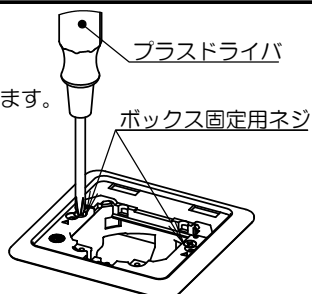
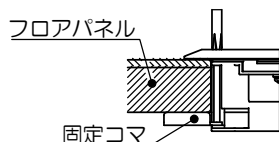
2 ケーブルの引き出し

プレートパネルを外し、開口部よりケーブルを引き出し、プレート枠を通過させてください。



3 ボックスの固定

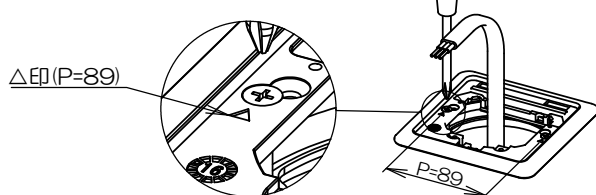
本体を開口に納めボックス固定用ネジを締め込み固定コマでフロアパネルを挟みます。
(推奨締め付けトルク：1N・m)



※ボックスを外す際は必ずボックス固定用ネジを緩めてください。
ただし、固定コマを下げ過ぎると破損や機能不良の原因となります。

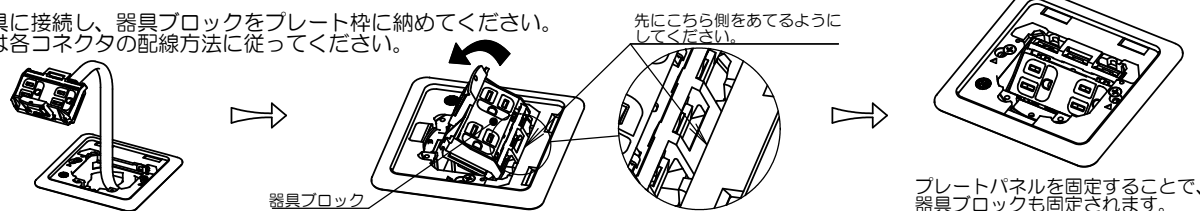
3 プレート枠の固定

添付のサラネジ(M4×50)2本を△印側のサラ穴に入れ、プレート枠を固定してください。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



4 器具ブロックの結線

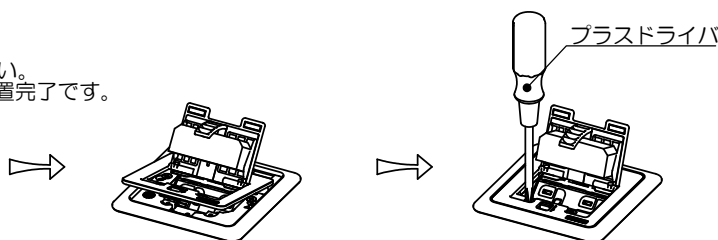
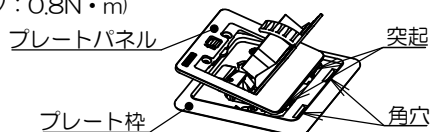
ケーブルを配線器具に接続し、器具ブロックをプレート枠に納めてください。
配線方法については各コネクタの配線方法に従ってください。



プレートパネルを固定することで、器具ブロックも固定されます。

5 プレートパネルの固定

プレートパネルの突起とプレート枠の角穴を嵌合させ、納めてください。
添付のサラネジ(M4×8)2本を締め込みプレートパネルを固定し、設置完了です。
(推奨締め付けトルク：0.8N・m)



■お問い合わせ先

株式会社TERADA

東日本：042-795-7648 / 西日本：06-6350-1361